

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	FLAG
診療科名	血液腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	AML
保険適応外の使用	有 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	AML-5
登録日・更新日	2010年7月13日
削除日	
出典	BJH 2001;112:127-137
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	フルダラ	50mg	30mg/m ²	IV DIV IVHポート 側管 その他()	30分	Day1 ~ 5
	生理食塩液	100mL				
No.2	キロサイド	400mg, 1g	2g/m ²	IV DIV IVHポート 側管 その他()	4時間	Day1 ~ 5
	生理食塩液	500mL			フルダラ投与後4時間あけて	
No.3	G-CSF		300 μg/body	IV DIV IVHポート 側管 その他(sc)		Day0 ~ 6

1コースの期間	日
投与間隔の短縮規定	短縮可能(日) ・ 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	[中止・延期基準] フルダラ:腎機能が低下している患者(クレアチニンクリアランスが30~70mL/分)では、腎機能の低下に応じて投与量を減量。
前投薬	グラニセトロン3mg+デキサメタゾンNa
その他の注意事項	

記入者	斎藤 大祐
確認者	山倉 昌之